

2019 年(令和 元年)度 第 33 回日本音声学会全国大会

The Thirty-Third General Meeting of the Phonetic Society of Japan

主催：日本音声学会（The Phonetic Society of Japan）

会場：清泉女子大学

〒141-8642 東京都品川区東五反田 3-16-21

(<https://www.seisen-u.ac.jp/access/index.php>)

大会運営委員長：木村琢也（清泉女子大学）

第 1 日目 9 月 28 日（土）会場 清泉女子大学 1 号館

- 12:00～ 受付
- 13:00～14:00 開会、総会、会長挨拶、会場校挨拶、表彰式（1 号館 140 教室）
会長挨拶 前川喜久雄（日本音声学会会長）
会場校挨拶 佐伯孝弘（清泉女子大学学長）
総会
学会賞授賞式（優秀論文賞，優秀発表賞，学術研究奨励賞）
- 14:00～15:30 特別講演（1 号館 140 教室）
今泉 敏（東京医療学院大学教授・前 日本音声学会会長）
「脳機能から考える音声」
- 15:30～15:45 休憩
- 15:45～17:45 公開シンポジウム（1 号館 140 教室）
「小学校英語音声教育を考えるー低年化と教科化を見すえてー」
- 18:00～20:00 懇親会 （ラファエラホール食堂）

第 2 日目 9 月 29 日（日）会場 清泉女子大学 1 号館

- 9:30～ 受付
- 10:00～11:55 研究発表（口頭 1 号館 131 教室、132 教室、133 教室）
- 11:55～13:30 休憩
- 13:30～14:45 研究発表（口頭 1 号館 131 教室、132 教室、133 教室）
- 14:50～16:10 研究発表（ポスター 1 号館 143 教室）
- 16:15～17:40 研究発表（口頭 1 号館 131 教室、132 教室、133 教室）
- 17:40 閉会

公開シンポジウムプログラム 9 月 28 日（土） 15:45～17:45 （1 号館 140 教室）

「小学校英語音声教育を考える－低年化と教科化を見すえて－」

企画・司会：上斗晶代（県立広島大学）

発表 1：「趣旨説明：小学校英語教育導入から現在までの経緯と課題」

上斗晶代（県立広島大学）

発表 2：「英語学習入門期における音声教育について」

西尾由里（名城大学）

発表 3：「小学校英語教育の現状，課題，展望－発音の学習と指導を中心に－」

俣野知里（京都教育大学附属桃山小学校）

発表 4：「小学校英語音声指導と評価のあり方」

山内豊（創価大学）

研究発表プログラム（9 月 29 日）

※優秀発表賞審査対象者は氏名に下線を付しました。今年度の優秀発表賞は後日学会 HP 上で発表し、受賞者にはメールでお知らせします。表彰式については後日 HP 上でお知らせします。

口頭発表 10:00～11:55、13:30～14:45、16:15～17:30

A 会場（1 号館 131 教室）

座長：東 淳一，山本誠子

- A1（10:00～10:35）日本語母語話者の英語韻脚におけるリズム制御
小西隆之（早稲田大学），近藤真理子（早稲田大学）
- A2（10:40～11:15）日本語の中和環境における /f/, /h/ の知覚
—後続母音との cross-splicing による検証—
青柳真紀子（獨協大学），WANG Yue（サイモン・フレーザー大学）
- A3（11:20～11:55）Acquiring jaw movement patterns in a second language: Some lexical factors
Wilson Ian（会津大学），Erickson Donna（ハスキンスラボ），
川原繁人（慶應義塾大学），桃生朋子（国際基督教大学）

（休憩）

座長：牧野武彦，峯松信明

- A4（13:30～14:05）複数人の英単語同時発声における音声の物理的評価と心理的評価
高野佐代子（金沢工業大学）
- A5（14:10～14:45）英語音声教育における TTS 合成音声の活用とその問題点
東 淳一（神戸学院大学）

（ポスターセッション）

座長：竹内京子，生駒美喜

- A6（16:15～16:50）日本語における発話リズムの異常性について
—運動障害性構音障害の発話をととして—
難波文恵（川崎医療福祉大学大学院）
- A7（16:55～17:30）通常小学校在籍の聴覚障害児童の英語分節音産出エラーの特徴
—摩擦音・破擦音の観察を中心に—
河合裕美（神田外語大学），高山芳樹（東京学芸大学）

B 会場（1 号館 132 教室）

座長：籠宮隆之，松田真希子

- B1（10:00～10:35）ベトナム語の声調記号は日本語アクセント表記に応用できるか
ドワンレ ホワイアイン（南山大学大学院），
- B2（10:40～11:15）台湾閩南語話者の日本語の清濁の聞き分けについて
孫 政政（國學院大學大学院）
- B3（11:20～11:55）日本語の母音/a//e/の産出混同における先行子音及び漢字音の影響
—中国華北東北方言学習者を中心に—
李 恵（首都大学東京大学院）

（休憩）

座長：久野 眞，竹内はるか

- B4 (13:30~14:05) 高知県伊豆田神社付近の方言の複合動詞のアクセント
高山林太郎（埼玉学園大学）
- B5 (14:10~14:45) 岐阜県旧益田郡方言のアクセントにおける 2 拍名詞(0)型と(2)型の区別 —
明治生まれ話者の録音資料から—
福井 玲（東京大学）

（ポスターセッション）

座長：久野マリ子，波多野博顕

- B6 (16:15~16:50) プリキュア名と両唇音の音象徴
川原繁人（慶應義塾大学）
- B7 (16:55~17:30) 日本語ラ行子音の調音：リアルタイム MRI による観察
前川喜久雄（国立国語研究所）

C 会場（1 号館 133 教室）

座長：田中真一，松井理直

- C1 (10:00~10:35) Vowel length contrast in Drenjongke
李 勝勲（国際基督教大学／ヴェンダ大学），
Guillemot Céleste（大東文化大学／国際基督教大学），
Lai Audrey（国際基督教大学），浅井穂香（国際基督教大学），
佐藤琴音（国際基督教大学）
- C2 (10:40~11:15) Perception of a non-salient place contrast in Tshivenda by Xitsonga speakers
鈴木成典（国際基督教大学），李 勝勲（国際基督教大学／ヴェンダ大学）
- C3 (11:20~11:55) 日本語母語話者によるロシア語の無声舌頂阻害音の知覚
VAKHROMEYEV ANATOLII（上智大学）

（休憩）

座長：高橋康徳，朱 春躍

- C4 (13:30~14:05) ベトナム語北部方言における「短母音＋舌背音」の韻について
山岡 翔（京都大学大学院／日本学術振興会）
- C5 (14:10~14:45) まとまった文における中国語イントネーション：文タイプに基づいて
服部拓哉（大阪大学大学院）

（ポスターセッション）

座長：中川千恵子，田川恭識

- C6 (16:15~16:50) 韓国語ソウル方言における語中閉鎖音の知覚
邊 姫京（国際教養大学）
- C7 (16:55~17:30) 朝鮮語ソウル方言における語頭破裂音の新しい音響パラメータの提案
山崎亜希子（早稲田大学）

ポスター発表 14:50~16:10（1 号館 143 教室）

座長：船津誠也，林良子

P01 日本語の韻律における下降傾向に関する一検討—東京方言と秋田方言を比較して—

木元めぐみ（神戸大学大学院），Albin Aaron（神戸大学），
林良子（神戸大学）

P02 ベトナム人日本語学習者による名詞アクセントの産出

グエン ティ フェン チャン（大阪大学大学院）

P03 音節構造から生じる音象徴：赤ちゃん用オムツの名前の分析

熊谷学而（明海大学），川原繁人（慶應義塾大学）

P04 ミャンマー人日本語学習者の[tsu]・[su]音の聞き取りに関する一考察

金 瑜眞（東京大学），丸島 歩（大阪経済法科大学）

P05 女性声優が女性および男性役を演じた音声の母音の音響的特徴

丸島 歩（大阪経済法科大学）

P06 長音と促音の知覚における隣接要素間の同化効果：実験デザインの影響の検証

石橋頌仁（福岡大学学部生），竹安大（福岡大学）

P07 英語音声習得の分析と発音訓練の効果測定

—中学校英語科教員と教職課程学生の英語習得において—

須藤路子（順天堂大学），籠宮隆之（国立国語研究所），
堀智子（順天堂大学）

P08 音声学の教科書の小道具をつくる

竹内京子（國學院大學），木村琢也（清泉女子大学）

P09 「円唇性」生成の決定的要因は何か TC model 共鳴管による[i/y]の生成・知覚実験

朱 春躍（神戸大学），呉 琪（神戸大学）

P10 謡の鼻的破裂音：音響と構音の特徴

吉田健二（日本女子大学），坂本清恵（日本女子大学）

P11 中国語母語話者による日本語アクセントの知覚：拍数とアクセント型に着目して

王 睿来（南京師範大学），林 良子（神戸大学），
磯村一弘（国際交流基金日本語国際センター），
新井 潤（国際交流基金ベトナム日本文化交流センター）

P12 モンゴル語アクセント研究のためのデータベースとCC音節構造

玉 栄（内モンゴル大学／国立国語研究所）

P13 Mora timing の誤謬

大竹孝司（イー・リスニング研究所）

◇参加費

大会当日は、受付で参加費をお支払いください。参加費は学生（学部、大学院）が1,000 円、一般会員が3,000 円、非会員（学生以外）が6,000 円です。学生の方は受付で学生証を提示してください。

※一日目の特別講演と公開シンポジウムは、どなたでも無料でご参加いただけます。

◇予稿集

予稿集は電子版の発行となります。USB や冊子媒体での予稿集は配布しません。予稿集は会員マイページにて事前に公開しますので、ダウンロードやプリントアウト等をして各自でご準備ください。

◇新規学会入会受付

入会ご希望の場合には、受付で入会手続きを行います。入会金、会費については、後日事務局よりご案内します。

◇懇親会

一日目 9 月 28 日（土）18:00 から、ラファエラホール食堂にて懇親会を開催します。参加費は 6,000 円（学生会員は 3,000 円）です。参加受付の方法については決まり次第ウェブサイトにてご案内いたします。

◇昼食

大会両日とも昼食用のお弁当等の受付はございません。近隣の飲食店、コンビニエンスストア等をご利用ください。

◇保育室のご案内

開催校のご協力を得て、大会の期間中保育室を開きます。小さいお子様がおいでの会員の方は、ぜひご活用ください。利用には事前予約が必要です。詳細については確定次第ウェブサイトでお知らせします。

◇手話通訳等の支援のご案内

手話通訳や要約筆記の支援を希望なさる方に、学会が費用の一部を補助いたします。補助の内容は個別にご連絡いたしますので、ご希望の方は 2019 年 9 月 6 日（金）までに学会事務局（psj-post@bunken.co.jp）にご連絡下さい。

◇展示

書籍・機器の展示を一日目 9 月 28 日（土）、二日目 9 月 29 日（日）の両日に行う予定です。

◇大会運営委員

木村琢也（委員長）、籠宮隆之、生駒美喜、竹内はるか、中川千恵子、船津誠也、牧野武彦

◇庶務委員

皆川泰代（委員長）、籠宮隆之、阿栄娜、波多野博顕、平田秀、三井はるみ、吉田健二

◇企画委員

林 良子（委員長）、船津誠也（副委員長）、東 淳一、生駒美喜、磯村一弘、籠宮隆之、川原繁人、久野 眞、久野マリ子、木村琢也、朱 春躍、高橋康徳、竹内京子、竹内はるか、田中真一、中川千恵子、波多野博顕、牧野武彦、松田真希子、峯松信明、山本誠子

◇会場への交通（両日とも 清泉女子大学）

- ①五反田駅（JR 山手線、都営地下鉄浅草線、東急池上線）から徒歩約 10 分
- ②品川駅（JR 東海道新幹線・山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線・上野東京ライン、京浜急行線）から徒歩約 15 分、または「五反田行」バスにて「東五反田 3 丁目」下車徒歩約 5 分
- ③大崎駅（JR 山手線・埼京線・湘南新宿ライン、りんかい線）から徒歩約 10 分
- ④高輪台駅（都営地下鉄浅草線）から徒歩約 10 分

※下記サイトに五反田、品川、大崎、高輪台の各駅からの「写真入りアクセス方法」がごさいますので、参考になさってください。

<https://www.seisen-u.ac.jp/access/index.php>

アクセスマップ



